

日本体操学会平成 15 年度総会議事録

日 時：平成 15 年 9 月 7 日（土）11：00～12：00

場 所：亀岡市市民体育館

出席人数：60 名

議 長：吉中康子理事長

書 記：早野曜子

配付資料：

- ・平成 14 年度事業報告
- ・平成 14 年度会計報告
- ・中央労働災害防止協会の THP 指導者（ヘルスケア・トレーナー等）更新ポイント関連書類
- ・平成 15 年度事業計画
- ・平成 15 年度予算案
- ・第 4 回日本体操学会大会（案）
- ・日本体操学会オンラインジャーナル投稿の案内
- ・講師謝礼・旅費規程（案）

○ 会長挨拶 春山会長より

○ 報告事項

1. 平成 14 年度事業報告

吉中理事長より報告があった。

2. 平成 14 年度会計報告

金子事務局長より報告があり、承認された。

3. 中央労働災害防止協会 THP 指導者（ヘルスケア・トレーナー等）更新ポイントについて

大島常任理事より体操学会が中央労働災害防止協会の単位認定対象学会として認定されたとの報告があった。次回より対象学会である旨学会プログラムに記載する。

○ 審議事項

1. 役員の変更について

吉中理事長より以下の提案があり、了承された。

会則では今年度は改選の年に該当する。しかし、本学会自体が発足後まだ 2 年目であり土台作り段階である。役員については現状のまま任期をもう 1 期（2 年間）延長とし、日本体操学会の更なる発展、学会の整備につとめることを担ってはどうかとの提案があり、了承された。

2. 学会のシンボルマークについて

荒木副会長より、「動いて学ぶ」をコンセプトにデザイナーへ依頼したシンボルマーク（案）の紹介があった。デザインの配色については、学会大会毎に指定してはどうかとの提案に対し、配色は固定した方がよいのではないかと意見が出された。

デザインについては承認された。

3. 平成 15 年度事業計画について

吉中理事長より平成 15 年度事業計画（案）について説明があり、承認された。

吉中実行委員長より 2003 年度「いいからだの日」一覧表についての鋭明があったが、28 件のイベント以外に、下記 3 件追加し、合計 31 イベントが決定している。

11/15（土）いいからだの日体操フェスティバル川崎 2003 神奈川 安西

11/23（日）みんなで体操モダントレーニング東京

11/23（日）伸ばそうほぐそう 心とからだ 香川県 長谷川先生

以上の事業について承認された。

4. 平成 15 年度予算案について

金子事務局長より平成 15 年度予算案が報告され、了承された。

5. 第 4 回日本体操学会大会（案）について

第 4 回大会担当の金子実行委員長より、第 4 回日本体操学会大会（案）についての説明があり、了承された。大会組織委員長は理事会メンバーの中からどなたかに担って頂きたいとの依頼があった。学会大会のテーマや企画については今後いくつかの変更が考えられるが、9 月中には組織委員会を作る予定。

6. 講師謝礼規程について

長谷川副会長より講師謝礼・旅費規程（案）について説明があり、承認された。

7. 役員の役務分担（平成 15 年度）について

吉中理事長より平成 15 年度の役務分担については、以下のような提案がされ、了承された。

- ・事務局 ○金子
- ・渉外 ○荒木、吉中
- ・学術研究（オンラインジャーナル） ○長谷川、後藤、古川、三宅、本谷
- ・広報・普及 ○大島、早野、山田、石橋、鈴木、砂田
- ・いいからだの日プロジェクト ○吉中、南、長谷川（芳）
- ・学会大会企画・運営プロジェクト 各学会大会担当者を中心に組織
- ・その他（必要に応じて特別プロジェクトを組織する）

（○：責任者）

8. 日本体操学会大会について

吉中理事長より今後の日本体操学会について提案し、承認された。

第 1 回大会（2002 年・平成 14 年）	日本体育大学	荒木、三宅
第 2 回大会（2002 年・平成 14 年）	筑波大学	長谷川、木谷
第 3 回大会（2003 年・平成 15 年）	京都学園大学	吉中
第 4 回大会（2004 年・平成 16 年）	女子栄養大学	金子
第 5 回大会（2005 年・平成 17 年）	北海道教育大学旭川校	古川
第 6 回大会（2006 年・平成 18 年）	関東（東京）地区	
第 7 回大会（2007 年・平成 19 年）	東海地区	

9. 日本体換学会オンラインジャーナルについて

長谷川副会長よりオンラインジャーナルについて提案がされ、承認された。

第 1 回大会と第 2 回大会では発表者に投稿の義務づけはしていなかったが、第 3 回大会からは発表者には必ず投稿して頂く様に要請する。投稿締めきり 12 月 25 日とする。

10. その他

(1) 学会事務局担当について

長谷川副会長より学会事務局担当理事について以下の提案がされ、承認された。

第 1 回～第 3 回（平成 13 年～15 年度）金子（女子栄養大学）

第 4 回～第 6 回（平成 16 年～18 年度）荒木・三宅（日本体育大学）

第 7 回～第 9 回（平成 19 年～21 年度）長谷川・木谷（筑波大学）

(2) 完全オンライン化（平成 20 年）について

長谷川副会長より、平成 20 年までには学会体制を発足当初の目標であった完全オンライン化に移行することが提案され、承認された。また、それまでの期間もインターネット会員と郵送会員との会費の差別化も検討しているとの提案があった。

(3) 日本体育学会との関連について

長谷川副会長より日本体育学会専門分科会の体操研究会は日本体操学会への移行に伴い、現在は実質的な活動は行われていないが、日本体育学会時のワークショップや看板としての役割のため残す必要があるとの報告があり、承認された。また、現体操研究会の会員には今後も日本体操学会への移行を促して行くとの報告があった。

(4) 今後の常任理事会の開催時期について

吉中理事長より今後の常務理事会の開催時期について報告があり、常務理事会は各学会大会中と学会大会前に 2 回行い、必要に応じて随時開催することが了承された。それ以外はメールを利用して会議を行うことになった。

(5) 広報・普及活動について

大島常任理事より広告・普及活動についてマスコミに積極的に認知してもらうように活動した。今後は担当委員に積極的に協力して頂きたいとのお願いがあった。

参加者アンケートの提出を依頼。

以上

理事長 書 中 康 子
議事録著名人 金 子 嘉 徳